

対象	小学校中学年以上
教科	社会科
該当 単元	小学4年 「ごみのしよりと 利用」 中学3年 「循環型社会に向 けて」
教科書	東京書籍・教育出版等
掲載日	2019.6.28.朝刊 東三河版

燃やすごみ スリム化作戦



「雑がみ分別お試し袋」のミニチュアと、菓子箱などの雑紙＝豊橋市役所で

分別を通して燃やすごみの減量を目指すと、豊橋市は「とよはしごみ・シエイプアップチャレンジ〜目指せパーフェクトボディ〜」をスローガンに掲げ、啓発に取り組んでいる。リサイクルできるにもかかわらず、燃やすごみで捨てられがちな資源を体脂肪に見立て、ダイエットを図るという試み。第一弾イベントとして、雑紙の分別量を競うグランプリを七月から開く。（高橋雪花）

市によると、二〇一八年にもこのぼる。これを体脂肪に見立てると肥満体形となる。燃やすごみとして捨てられる資源のうち、バイオマス四万七千トのうち、リサイクルすることから、余分なごみの量を絞ろうと呼び掛けている。バイオマス発電に役立てられる生ごみと並んで特に多いのは雑誌だ。段ボールや新聞など

豊橋市企画 雑がみG.P 地域・団体で分別競う

を除いたりリサイクルできる紙のことで、包装紙や菓子箱、トイレットペーパーの芯などが含まれる。

そこで、昨年続き二回目となる「雑がみグランプリ」を企画。自治会や子ども会などが自主的に取り組む「地域資源回収」で集められた雑紙の量を、地域や団体ごとに競う。期間は七月一日～十二月三十一日。優秀な地域や団体は来年三月に表彰する予定だ。

さらに雑紙の種類が書かれた「雑がみ分別お試し袋」を、七月から小中学生がいる世帯や幼稚園などに配布する。雑紙を袋に入れ、そのまま地域資源回収に出すことができる。

企画担当の市環境政策課舞田知里さん（三巴）は「家に雑紙はいっぱいあるはず。家庭で楽しく分別しながら、みんなで燃やすごみのシェイプアップに協力して」と話している。

問1：次の下線部の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

ア 雑紙を地域で分別する。 ()

イ あの人は分別のありそうな人だ。 ()

問2：「燃やすごみ スリム化作戦」とはどんな作戦なのでしょう。

リサイクルできるにもかかわらず、燃やすごみで捨てられがちな資源を
()に見立て、()を図る作戦。

問3：燃やすごみのうち、リサイクルできる資源は、何%あるのでしょうか。

() %

問4：次の中から「雑紙」にあたるものに○を付けましょう。

生ごみ 段ボール 新聞 包装紙 菓子箱

発展：あなたの住んでいる地域では、ごみの分別をどのようにしているのか調べてみましょう。

